

◎平成25年(1～12月)漁業種類別主要魚種の水揚状況

	平年に比べて好漁(120%以上)				平年並み(80～120%)				平年に比べて不漁(80%以下)			
	魚種	水揚量	平年比	前年比	魚種	水揚量	平年比	前年比	魚種	水揚量	平年比	前年比
旋網	イワシ	3,179t	50851%	19069%	サバ	1,868t	84%	454%	アジ	39t	2%	5%
	イナダ	700t	159%	829%								
	ブリ	156t	128%	86%								
定置網	イワシ	100t	497%	205%	サケ	233t	84%	134%	アジ	360t	61%	94%
	イナダ	799t	202%	227%	ヤリイカ	34t	119%	226%	サバ	101t	39%	62%
	スルメイカ(生)	488t	229%	181%					ブリ	237t	34%	52%
									マグロ	54t	60%	58%
									メジマグロ	22t	36%	35%
									サクラマス	3t	40%	90%
									マダイ	22t	66%	91%
								ヒラメ	6t	51%	120%	
								サワラ	79t	61%	153%	
板曳網	ヤナギムシガレイ	148t	129%	105%	ヒラメ	103t	91%	108%	タコ類	23t	48%	74%
					マガレイ	69t	96%	86%	アカムツ	4t	38%	108%
					ムシガレイ	64t	91%	103%				
					マコガレイ	14t	84%	106%				
					その他カレイ	51t	83%	96%				
底曳網					ムシガレイ	26t	93%	81%	ソウハチ	47t	68%	61%
					アカガレイ	40t	94%	137%	ヤリイカ	29t	51%	50%
					ヒラメ	17t	104%	126%	スケトウダラ	23t	35%	94%
					ニギス	468t	97%	106%	ホッケ	24t	21%	81%
					タコ類	41t	108%	111%	ハタハタ	236t	64%	93%
					ホッコクアカエビ	246t	92%	119%				
					マダラ	215t	97%	195%				
イカ釣					スルメイカ(生)	2,305t	81%	107%				

※平年:過去5年間の平均水揚量

○平成25年漁況の主な特徴

【浮魚類】

- ・まき網の総水揚量は、イワシ、ブリ類の好漁により前年比413%、平年比129%でした。
- ・主要定置網の総水揚量は、前年比123%、平年比100%と前年を上回り、平年並みでした。
- ・魚種別では、イワシは春先に、イナダは10月から12月に、スルメイカは12月に多く水揚げされ、平年を上回りました。
- ・特にスルメイカは、両津湾における12月の水揚量が300トンを超え、冬季としては近年では平成18年1月(680トン)以来の好漁でした。
- ・前年好調であったマグロは、主漁期の5月から7月に低調で、平年を下回りました。
- ・スルメイカ釣りの水揚量は、前年比107%、平年比81%と平年並みでした。

【底魚類】

- ・平成25年1～12月の県内主要地区における板曳網(4地区)の総漁獲量は783トンで前年比90%、平年比86%、水揚金額では前年比88%、平年比82%となり、前年・平年並みでした。また、底曳網(8地区)の総漁獲量は2,483トンで前年比107%、平年比91%、水揚金額では前年比105%、平年比99%となり、前年・平年並みでした。
- ・延べ出漁隻数は板曳網で前年比92%、平年比84%、底曳網で前年比101%、平年比91%となり、前年・平年並みでした。
- ・ヤナギムシガレイは豊漁で体長14cm前後のサイズを中心に水揚げされています。
- ・ヒラメの平成24年生まれの資源水準は平成23年生まれと同程度で、9月以降、順調な漁獲加入が見られ、前年を上回り、平年並みでした。
- ・ホッコクアカエビについて、底曳網では大型が減少しましたが、資源水準が高い平成22年生まれが小小～小銘柄で漁獲され始めたため前年を上回りました。一方、籠では網目の選択性から、平成22年生まれは本格的な漁獲サイズに至っていません。
- ・その他の主要魚種(全漁法集計):アンコウ(同86%)、マダイ(同108%)、ズワイガニ雄(同82%)雌(同95%)、シロギス(同38%)。